

切り立つ断崖と溪谷美を楽しむ遊歩道

山梨・昇仙峡

昇仙峡は山梨県の甲府盆地の北部、笛吹川の支流、荒川上流にある景勝地。溪谷は、花崗岩が侵食された奇岩が数多く見られます。紅葉が燃える11月上旬から中旬の美しさは格別なものがありません。



名前そつくりの奇岩
バス停天神森から
猿岩などへ

甲府駅から昇仙峡行きのバスに30分ほど乗って天神森で降ります。アーチ形で昇仙峡の玄関口として有名な長とろ橋を左手に見ながら遊歩道を歩きだすと、岩の中腹や川床に様々な動植物の姿に似た奇岩が次々と登場します。それぞれ「猿岩」「ラクダ石」

100体以上の
五百羅漢像
猿岩などから羅漢寺へ

多数の奇岩を楽しみながら約30分ほど歩くと左手に吊橋が見えてきます。渡ると県の有形文化財になっている羅漢

日本一の溪谷美
羅漢寺から覚円峰へ

寺があります。小さなお堂には、100体以上の木造五百羅漢像と木造阿弥陀如来像が安置されています。五百羅漢像は約600年前に作られたものです。

また遊歩道にもどって10分ほど、昇仙峡のシンボル覚円峰を間近に見ることが出来ます。日本一の溪谷美といわれる覚円峰は頂の高さが約180mで、垂直にそそり立つ石峰は迫力満点です。覚円峰の溪谷美を楽しみつつ

昇仙峡のシンボル「覚円峰」



動植物にそっくり「数々の奇岩」



歩き出すと、巨大な岩が遊歩道にせり出しています。石門と呼ばれています。不安定なスリルを味わうことができます。昇仙橋を渡り5分ほどで、荘厳な仙娥滝の落下する水音が聞こえてきます。四季おりおりの美しさのなかでも、秋の紅葉の装いは必見といえるでしょう。5分ほど歩いて鳥居が見えたら、ゴールのバス停昇仙峡滝上はもう間近です。



アクセス：【電車】新宿駅からJR中央線で甲府駅下車。所要時間は特急で約1時間20分。甲府駅南口バスターミナル3番乗降口から昇仙峡行きのバスで天神森下車（約30分）。

【車】東京方面からは中央自動車道、八王子I.Cから甲府昭和I.Cまで約1時間。名古屋方面からは中央自動車道、小牧I.Cから甲府昭和I.Cまで約2時間30分。甲府昭和I.Cから天神森まで約30分。

コース：天神森バス停→(30分)→羅漢寺→(10分)→覚円峰→(15分)→仙娥滝→(5分)→昇仙峡滝上バス停

距離：約4km
所要時間：約1時間
歩数の目安：8,000歩

観光の
お問い合わせ

昇仙峡観光協会 TEL: 055-287-2158
<http://www.shosenkyo-kankoukyokai.com/>

ワンポイントアドバイス

今回ご紹介したコースは、昇り道が多いコースです。楽に下り道を歩きたい方は、バス停昇仙峡滝上から逆に歩いてください。ただし、下り道はケガをしやすいので、慎重に歩きましょう。